

数は、県立高等学校18.9人、私立高等学校24.1人、県立・私立高等学校全体では19.7人となっている。

この高等学校教員一人当たりの生徒数の推移を昭和41年度から昭和51年度までにおいてみると、県立高等学校については緩慢な下降状況を示し、私立高等学校については、横ばいの状況後緩慢な下降状況にある。

なお、県立高等学校、私立高等学校を合わせた教員一人当たりの生徒数の推移についても下降状況を示し、昭和51年度は昭和41年度に比べ、5.3人減少している(図2-4-17)。

次に、高等学校教員数を課程別にみると、昭和51年度は、全日制高等学校教員4,569人、定時制高等学校教員265人、通信制高等学校教員30人となっており、全日制高等学校教員が高等学校教員数総の93.9%を占めている。

この課程別高等学校教員数の推移について、昭和41年度から昭和51年度までにおいてみると、全日制高等学校教員数は年々上昇傾向にある。

一方、定時制高等学校教員数は緩慢な下降状況を示している(図2-4-18)。

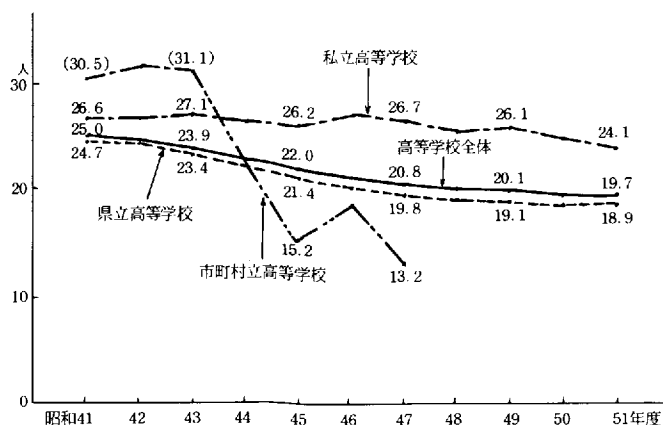
なお、昭和51年度は昭和41年度に比べ、全日制高等学校教員は642人増加し、定時制高等学校教員は175人の減少となっている。

定時制高等学校教員が減少したのは、定時制高等学校の減少によるものと想定される。

また、通信制高等学校教員数については、各年度共に30人前後でほぼ一定の推移となっている。

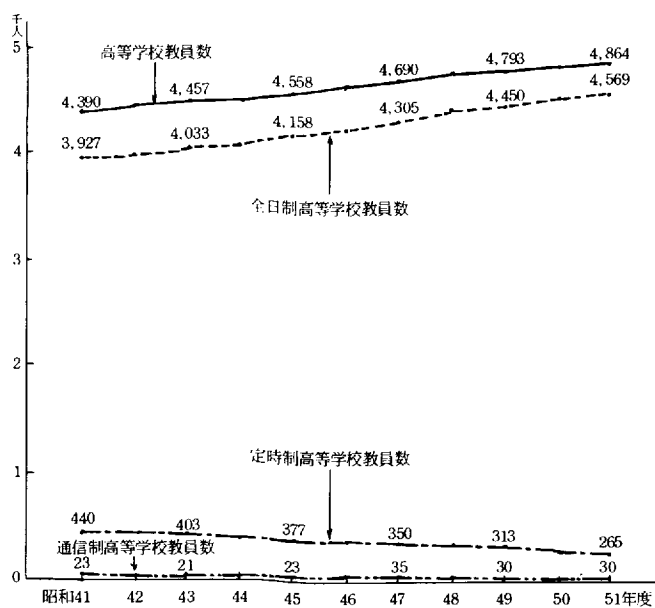
次に、昭和51年度における県立高等学校の校長、教員、養護教員及び実習助手について「高

図2-4-17 高等学校教員一人当たりの生徒数の推移



注：1. 「学校統計要覧」(昭41～昭51)による。  
2. 教員数には養護教員を含む。

図2-4-18 課程別高等学校教員数の推移



注：1. 「学校統計要覧」(昭41～昭51)による。  
2. 教員数は県立・私立高等学校教員の合計である。  
3. 教員数には養護教員を含む。